

大阪支部 平成30年度秋季見学会  
関西電力大飯原子力発電所見学会報告（2018年10月20日）

2018年度秋の見学会は、関西電力大飯原子力発電所の見学となりました。大阪支部では過去2009年にも、この発電所を見学しました。今回の参加者は18名で、その内の5名は2度目の参加です。

出発9時の大阪駅前には、結構強い雨が降っていましたが、バスは高速道路経由で福井県へ。バスの車内では、関西電力の製作による原子力発電所の安全関係等のDVDを視聴しました。今回の案内役として、関西電力から2名の方に添乗いただきました。おかげさまで福井県に入ると晴天となり、高浜町の城山荘にて昼食休憩を取りました。

次に、大飯原子力発電所のビジターハウスの見学です。このハウスは道の駅に接しており、原子力発電所の内容説明を行う施設です。ここで、各自の身分証明書の確認を行いました。参加者には、顔写真付き身分証明書の持参が要求されており、今回運転免許証をお持ちの方が、ほとんどでした。これは、関連法令が厳密化されたのルールとのことで、9年前には個別での身分証明書の確認はありませんでした。

各種の映像による説明を受けてから、いよいよ本番の大飯原子力発電所に向かいます、大島半島への連絡橋を渡り15分ほど走り、ようやく大飯原子力発電所に到着しました。この原発には、加圧小型軽水炉（PWR）が4基あります。1号機、2号機は、今年3月に廃炉が決定しています。3号機、4号機は、各々最高出力の118万kwで発電しており、関西地方へ送電しています。

見学は発電所専用のバスに乗り換えることとなります。その前に、見学棟でVRゴーグルを受け取りました。次に、ひとりずつガードマンに名前を呼ばれて、顔写真を確認された後にバスに乗り込みました。海外へ行く際の、パスポートチェックと同じことでしょうか。

見学バスにて、所定コースを回りました。例えば、発電機の建屋に来た時に、内部は見えないので、VRゴーグルにて内部の様子を見ることができました。ただし静止画像の対応でした。施設内では、随所で工事が行われており、災害時の安全性向上への対応だと思われました。

大飯原子力発電所での1時間の見学の後、京都縦貫道の道の駅である「味夢の里」で休憩を取り、大阪駅に18時に到着しました。

今回の参加者の皆様より、せっかくの機会なので原子力発電について、関西電力と意見交換をしたかったとのご意見がありましたが、今回は先方の対応も難しく、またの機会を設定したいと考えます。今後とも見学会への参加いただくと共に、見学先のご希望があれば何なりと担当者までご連絡をお願いいたします。

（文責:G50 西川）

